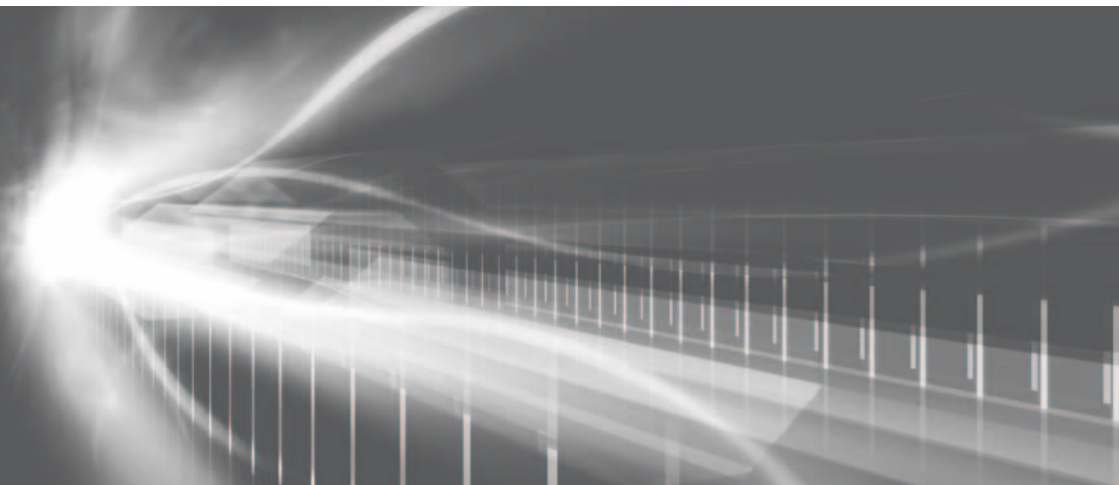




トヨタ ウェルキャブシリーズ



ウェルキャブ 助手席リフトアップシート車 取扱書

よくお読みになってご使用ください。
取扱書は車の中に保管しましょう。

**ESQUIRE
NOAH
VOXY**



イラスト目次

イラストから検索

1 安全・安心のために

お客様に必ずお読みいただきたいこと

2 助手席リフトアップシート

助手席リフトアップシートに関する説明

3 手動車いす用固定装置

手動車いす用固定装置に関する説明

4 万一の場合には

故障したときや、緊急時などの対処

5 点検・整備項目

定期点検整備についての説明

さくいん

症状から検索

音から検索

五十音で検索

イラスト目次	4
本書の見方	6

1 安全・安心のために

1-1. 安全なドライブのために

助手席リフトアップシートに ついて	8
車いすの固定について	13
バッテリーについて	14

2 助手席リフトアップシート

2-1. 助手席リフトアップシート

助手席リフトアップシート	16
助手席リフトアップシートの 調整	17
ヘッドレスト	19
アームレスト	21
フットレスト	22
正しい乗車姿勢	23
ワイヤレスリモコン	24

2-2. 操作のしかた

助手席リフトアップシートの 操作をするときは	27
助手席リフトアップシートを 車外に出すときは	31
助手席リフトアップシートを 車内にもどすときは	35
シート昇降スイッチでの 操作	39

2-3. セカンドシート

助手席側セカンドシート	41
-------------------	----

3 手動車いす用固定装置

3-1. 手動車いす用固定装置

車いすの収納・固定前の準備 ..	44
車いす固定ベルト	46

3-2. 車いすの収納・固定

固定・解除のしかた	50
-----------------	----

4 万一の場合には

4-1. 故障かな？と

お考えになる前に

ヒューズの交換	56
助手席リフトアップシートが 動かないときは.....	58
ワイヤレスリモコンの 電池交換	59

4-2. 緊急時の対処法

助手席リフトアップシートが 車外に出た状態で 動かないときは.....	61
---	----

5 点検・整備項目

5-1. 点検・整備項目

定期点検整備	74
--------------	----

さくいん

こんなときは (症状別さくいん)	76
車から音が鳴ったときは (音さくいん).....	78
五十音順さくいん.....	80

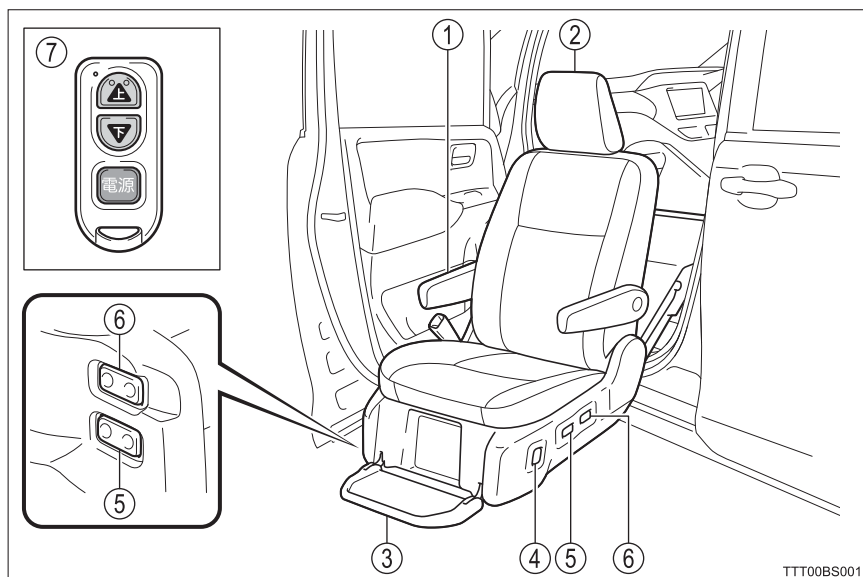
本書はウェルキャブ 助手席リフトアップシート車の装備について記載しています。

車両全体の取り扱い方法や注意事項などは、必ず別冊の標準車取扱書をお読みください。

ただし、ウェルキャブ装備により、お車と標準車取扱書の仕様や機能が一致しない場合がありますのでご了承ください。

イラスト目次 (ウェルキャブ装備)

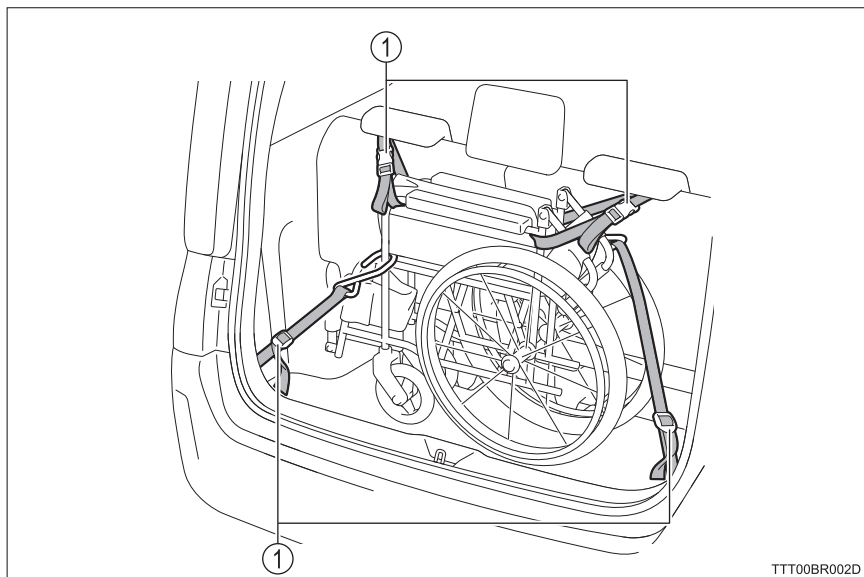
■ 助手席リフトアップシート



TTT00BS001

① アームレスト	P.21
② ヘッドレスト	P.19
③ フットレスト	P.22
④ シート昇降スイッチ	P.39
リセットについて	P.62
⑤ シート前後スライドスイッチ	P.17
⑥ シートリクライニングスイッチ	P.17
⑦ ワイヤレスリモコン	P.24
助手席リフトアップシートを車外に出すときは	P.31
助手席リフトアップシートを車内にもどすときは	P.35
電池交換	P.59

■ 手動車いす用固定装置



- | | |
|------------------|------|
| ① 車いす固定ベルト | P.46 |
| 固定・解除のしかた | P.50 |

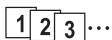
本書の見方



お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。



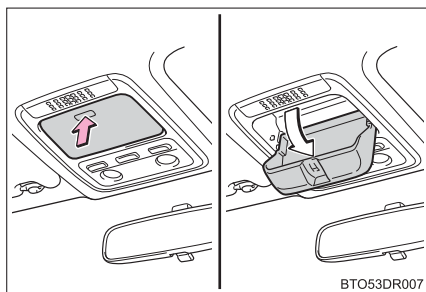
お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。



操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。

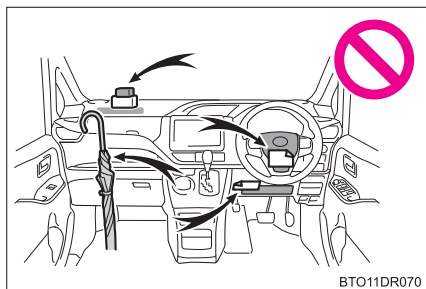
➡ 押す・まわすなど、していただきたい操作を示しています。

➡ フタが開くなど、操作後の作動を示しています。



➡ 説明の対象となるもの・場所を示しています。

⊘ “してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味です。



機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

安全・安心のために

～必ずお読みください～

1

1-1. 安全なドライブのために

助手席リフトアップシートに ついて	8
車いすの固定について.....	13
バッテリーについて	14

助手席リフトアップシートについて

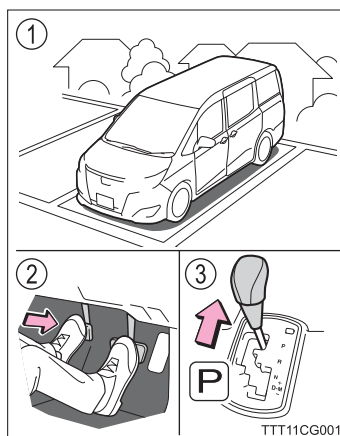
- 本書におけるウェルキャブ 助手席リフトアップシート車の操作はすべて介助の方が行ってください。
- この項目では、助手席リフトアップシートについて、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

警告

■操作および車いすを収納するときは

不整地や傾斜地で操作しないでください。
車いす・助手席リフトアップシートからの転落や、車いす収納時に車いすが傾いて体や車両にあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- ① 平坦な場所で操作
- ② パーキングブレーキを確実にかける
- ③ シフトレバーをPの位置にする



■操作する前に

助手席ドアを全開にしてください。
全開にしないと助手席リフトアップシート操作時、助手席リフトアップシート乗車の方の足が助手席ドアと接触し、けがをするおそれがあります。
また、フットレストとドアトリムがあたり、損傷するおそれがあります。



警告

■チャイルドシートの装着禁止

助手席リフトアップシートにチャイルドシートを装着しないでください。装置の破損や、お子さまが重大な傷害を受けるか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



■操作するときは

●正しい姿勢で乗車してください。(→ P.23)

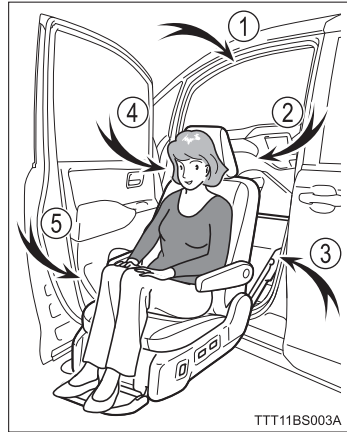
●乗員の体について十分な安全確認をしてください。

助手席リフトアップシートを回転・昇降させるときに、頭や手足をドア開口部にあてるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- ① ドア開口部と頭部の接触到に注意する
- ② インstrumentパネルに足をぶつけないように注意する
- ③ ドア開口部と助手席リフトアップシートのすき間に挟まれないように注意する
- ④ Instrumentパネルおよびグローブボックスと助手席リフトアップシートのすき間に挟まれないように注意する
- ⑤ ドアと足の接触到に注意する

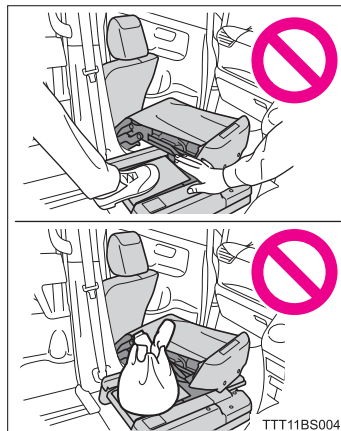
●フットレストの上で立ち上がらないでください。

フットレストが破損したり、フットレストから落ちてけがをするおそれがあります。



警告**■操作するとき**

- 助手席リフトアップシート作動時、助手席リフトアップシートの下および周辺に手足や荷物を入れしないでください。手足を挟まれけがをしたり、荷物を損傷するおそれがあります。

**■助手席リフトアップシートを車内に格納したときは**

助手席リフトアップシートが確実に格納されているか確認してください。

確実に格納されていないと、走行中に助手席リフトアップシートが動き、思わぬ事故の原因になって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

正常格納時：格納完了時、“ピピッ”とブザーが鳴ります。

異常格納時：格納不良のまま助手席ドアを閉めると“ピーピー”という断続音が鳴ります。

異常格納時は、助手席ドアを開けてからワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、シート上昇スイッチ（またはシート昇降スイッチの上側）を押し続け、格納を完了させてください。

格納不良のままだとバッテリーあがりの原因にもなります。

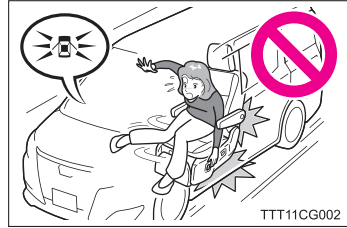


警告

■ 走行する前の安全確認

半ドア状態のまま走行しないでください。半ドア状態のまま走行して、シート昇降スイッチにふれたり操作すると、助手席リフトアップシートが動き、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

走行する前に半ドア警告灯が消灯し、すべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。

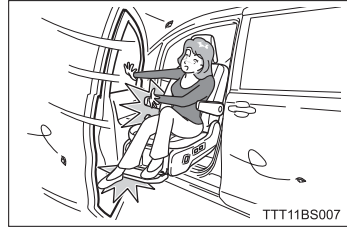


TTT11CG002

■ 強風時の助手席ドアについて

強風時、助手席ドアが閉まることがあります。

助手席ドアが助手席リフトアップシートおよび乗員にあたり、けがをするおそれがありますので、注意してください。



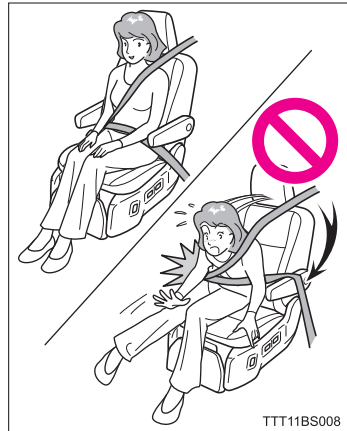
TTT11BS007

■ 助手席リフトアップシート乗員のシートベルトの着用

走行前に必ずシートベルトを正しく着用してください。(→標準車取扱書の「シートベルト」)

正しく着用しないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- シートベルトを着用した状態ではスイッチを押しても助手席リフトアップシートは回転・下降作動しません。
- 腰部ベルトは必ずアームレストの下を通してください。



TTT11BS008

 **注意****■ 損傷・故障を防ぐために**

市販のクッションなどを助手席リフトアップシートに取り付けるときは、助手席リフトアップシートのシートクッションと背もたれのあいだに市販のクッションの取り付け部を挿し込まないでください。



- 助手席リフトアップシート昇降作動時、助手席リフトアップシートの可動部などに市販のクッションの取り付け部があたり、市販のクッションの取り付け部および助手席リフトアップシートを損傷するおそれがあります。
- 助手席リフトアップシート昇降作動時、助手席リフトアップシートの可動部などに市販のクッションの取り付け部があたると、助手席リフトアップシートが作動しなくなるおそれがあります。助手席リフトアップシートが作動しなくなったときは、P.61以降の要領で助手席リフトアップシートを車内にもどし、そのままトヨタ販売店で点検を受けてください。

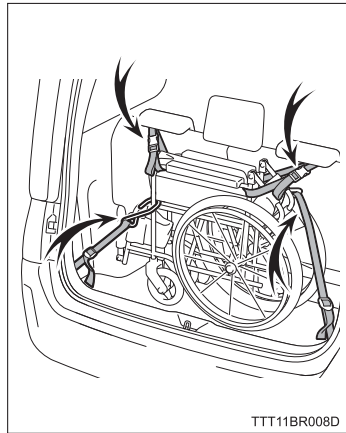
車いすの固定について

車いすの固定について、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

警告

■ 車いすの固定確認

確実に固定されているか確認してください。
急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに車いすが車室内にとび込んだり、車いすが動いて車両や車いすが損傷するなど、重大な事故につながるおそれがあり危険です。
また、車いす固定ベルトにねじれがないことも確認してください。



■ 車いす固定ベルトについて

車いす固定ベルトは、サードシートのうしろ側にあることを確認してください。
車いす固定ベルトがサードシート前側にある場合、サードシートに乗車の方の体に巻きつき、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



バッテリーについて

バッテリーについて、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

知識

■ バッテリーの取り扱いについて

助手席リフトアップシート操作中にバッテリーをはずさないでください。

助手席リフトアップシートが作動しなくなります。

助手席リフトアップシート操作中にバッテリーの交換またははずしたときは、バッテリーの接続状態を確認し、リセット操作をしてください。(→ P.62)

助手席リフトアップシート

2

2-1. 助手席リフトアップシート

助手席リフトアップシート.....	16
助手席リフトアップシートの調整.....	17
ヘッドレスト.....	19
アームレスト.....	21
フットレスト.....	22
正しい乗車姿勢.....	23
ワイヤレスリモコン.....	24

2-2. 操作のしかた

助手席リフトアップシートの操作をするときは.....	27
助手席リフトアップシートを車外に出すときは.....	31
助手席リフトアップシートを車内にもどすときは.....	35
シート昇降スイッチでの操作.....	39

2-3. セカンドシート

助手席側セカンドシート.....	41
------------------	----

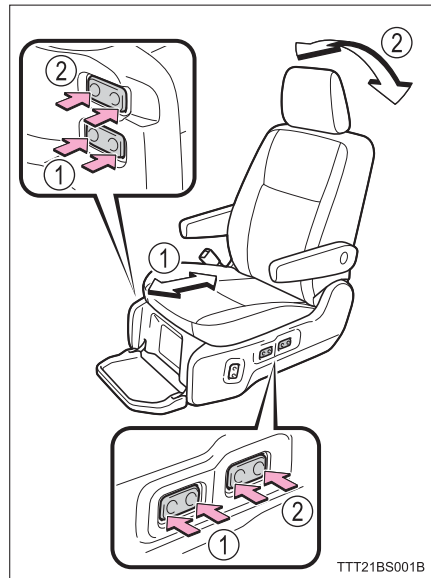
助手席リフトアップシート

助手席シートについて、標準車との相違点を記載しています。

装備	標準車との相違点	
	標準車	助手席リフトアップシート
シートバックテーブル	有	無

助手席リフトアップシートの調整

- ① 前後位置調整
(シート前後スライドスイッチ)
- ② リクライニング調整
(シートリクライニングスイッチ)



知識

■ 作動条件について

助手席リフトアップシートが車内に正常格納されていない状態では、前後位置調整・リクライニング調整はできません。

■ 助手席リフトアップシートの前後スライド量について

前後に合計 125mm 移動することができます。

■ シートアレンジについて

助手席リフトアップシートはフラットシートにすることはできません。

警告

■ 前後位置およびリクライニング調整について

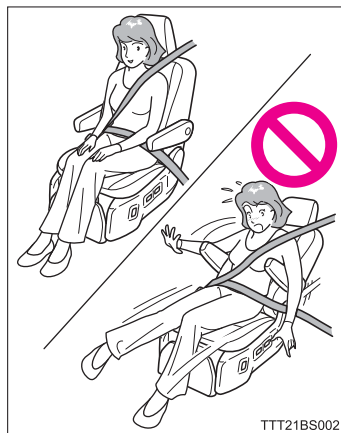
助手席リフトアップシートの後方スライドおよび背もたれをうしろ側に倒すときは、助手席側セカンドシート乗車の方にあたらないことを確認しながら行ってください。

- 助手席リフトアップシートを後方スライドさせすぎると、助手席側セカンドシート乗車の方の足が助手席リフトアップシートに挟まれ、けがをします。
- 背もたれをうしろ側に倒しすぎると、助手席側セカンドシート乗車の方に助手席リフトアップシートの背もたれあたり、けがをします。

■ リクライニング調整について

走行中は背もたれを必要以上に倒さないでください。

事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けるなど生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。



TTT21BS002

注意

■ 故障・破損を防ぐために

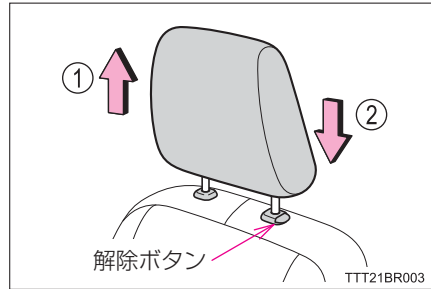
- 前後位置調整・リクライニング調整の作動が完了したらスイッチから指を離してください。
スイッチを押し続けると故障の原因になります。
- 次の状態で助手席リフトアップシートの背もたれをうしろ側に倒しすぎないでください。
助手席リフトアップシートと助手席側セカンドシートあたり、破損するおそれがあります。
 - ・ FF 車：助手席側セカンドシートを格納（チップアップ状態）にしたとき
 - ・ 4WD 車：助手席側セカンドシートの背もたれを前方に倒したとき

ヘッドレスト

① 上げる

② 下げる

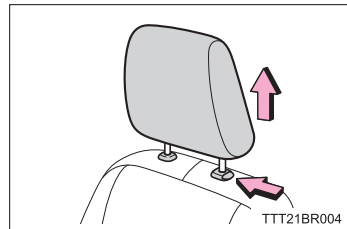
下げるときは、解除ボタンを押しながら操作します。



知識

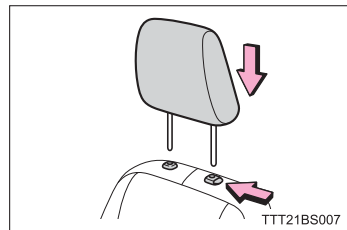
■ヘッドレストを取りはずすときは

解除ボタンを押したまま引き抜きます。



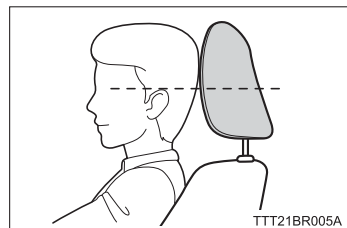
■ヘッドレストを取り付けるときは

ヘッドレストを取り付け穴に合わせて、ロック位置まで押し下げてください。さらに下げるときは、解除ボタンを押しながら操作してください。



■ヘッドレストの高さについて

必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん上のあたりになるように調整してください。



 **警告****■ヘッドレストについて**

次のことをお守りください。

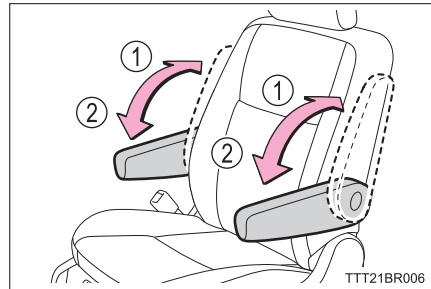
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ヘッドレストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ヘッドレストを正しい位置に調整する
- ヘッドレストを調整したあとは、ヘッドレストを押し下げて固定されていることを確認する
- ヘッドレストをはずしたまま走行しない

アームレスト

助手席リフトアップシートの回転および昇降操作は、アームレストをいっぱいまで下げた状態で行います。

- ① 上げる
- ② 下げる



知識

■ シートベルトの着用について

アームレストを上げた状態にすると、シートベルトの着用が容易になります。

警告

■ シートベルトを着用するときは

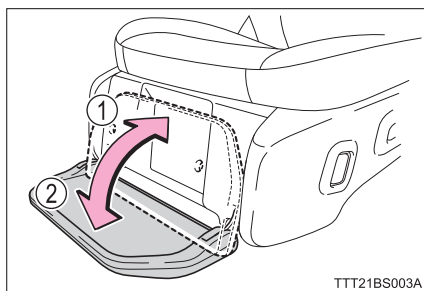
シートベルトは腰部ベルトをアームレストの下に通して正しく着用してください。アームレストにかかった状態で着用すると、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



フットレスト

助手席リフトアップシートの回転および昇降操作は、フットレストをいっぱいまで下げた状態で行います。

- ① 上げる
- ② 下げる

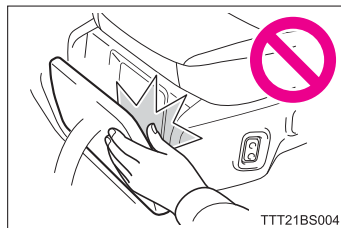


警告

■フットレストを操作するときは

必ずフットレスト先端部を持って操作してください。

回転部近くを持つと指などを挟み、けがをするおそれがあります。



正しい乗車姿勢

次のように正しい姿勢で乗車してください。

- ① 両ひざをそろえて助手席リフトアップシートの内側に収まるように座る
- ② アームレストを下げ、両腕をアームレストの内側におく
- ③ フットレストを下げ、両足をフットレストにのせる
フットレストに足をのせることができない場合は、足が助手席リフトアップシートとボデーのあいだで挟まれないように介助の方が支えてください。



警告

乗車のときは

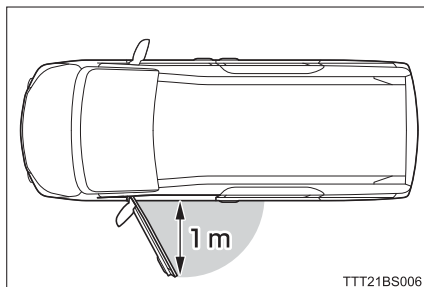
- 助手席リフトアップシートに深く着座できない方、ひざや首が曲がらない方は、足や頭がボデーにあたり、座った状態での助手席リフトアップシートの回転が困難になりますので、ご注意ください。
- フットレストの上で立ち上がらないでください。
フットレストが破損したり、フットレストから落ちてけがをするおそれがあります。
- 助手席リフトアップシート作動時、頭上や手足に注意してください。
頭をドア開口部にあてたり、ひざや腕をインストルメントパネルやドア開口部にあて、けがや思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。(→ P.9)

ワイレスリモコン

ワイレスリモコンで助手席リフトアップシートの回転、および昇降操作ができます。

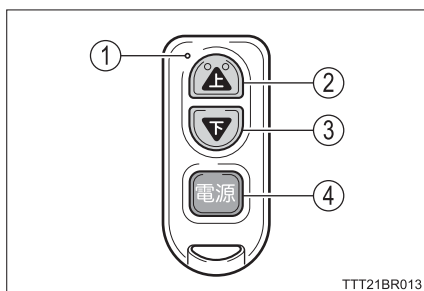
■ 作動可能範囲

助手席リフトアップシートから
約 1m



■ 各部の名称

- ① 動作表示 LED
- ② シート上昇スイッチ
- ③ シート下降スイッチ
- ④ 電源スイッチ



 知識

■ 作動条件について

- ワイヤレスリモコンは、周囲の状況により作動可能範囲が変わることがあります。
- 周囲の電波状況により、シート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押しても助手席リフトアップシートが一時的に停止する場合や、作動しなくなることがあります。そのときは次のことを行ってください。
 - ・ 立つ位置をかえて操作する
その際、スイッチは押し直してください。押し続けたまま立つ位置をかえても助手席リフトアップシートは作動しません。
 - ・ シート昇降スイッチで操作する (→ P.39)
- 助手席側ガラスに次のものを貼り付けると、受信機への電波がさえぎられて受信感度が低下し、作動可能距離が短くなるおそれがあります。
 - ・ 金属を含有するウインドウフィルム
 - ・ その他の金属物 (トヨタ純正品以外のアンテナなど)

■ ワイヤレスリモコンについて

- ワイヤレスリモコンは電波法の認証に適合しています。必ず次のことをお守りください。
 - ・ 電池交換時以外は、不用意に分解しないでください。分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。
 - ・ 必ず日本国内でご使用ください。
- ワイヤレスリモコンの送信機または受信機のどちらかのみを交換したときは、ID コードを登録する必要があります。登録はトヨタ販売店にお申し付けください。

■ 電池について

- 電池寿命は約1年間です (1回の操作時間を30秒、1日の操作回数を20回で計算した場合)。ただし、電池寿命は実際の使用状況によって変わります。
- ワイヤレスリモコンを操作しても助手席リフトアップシートが作動しない場合や、著しく作動可能距離が短くなった場合、または動作表示LEDが点灯しなくなったり、点滅しなくなった場合は、電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。電池はお客様自身で交換できます。(→ P.59)

■ 航空機に乗るときは

航空機にワイヤレスリモコンを持ち込む場合は、航空機内でワイヤレスリモコンのスイッチを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にスイッチが押されないように保管してください。スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

 **警告****■ 電波がおよぼす影響について**

医療用電気機器（以下を除く）を使用される場合は、電波による影響について医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

- 植込み型心臓ペースメーカー
- 植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータ
- 植込み型除細動器

■ ワイヤレスリモコンを使用するときは

安全に使用していただくため、次のことを必ずお守りください。

- 乗員の体が見える位置で、助手席リフトアップシート乗車の方の頭・腕・足などがボデーと挟まれていないことを確認できる距離で操作する
- 助手席リフトアップシートまたは助手席リフトアップシート乗車の方に手を添えるなどして操作する

 **注意****■ 故障を防ぐために**

- ワイヤレスリモコンは電子部品のため、次のことを必ずお守りください。
 - ・ ダッシュボードの上など、直射日光のあたる場所および高温になるところに置かない
 - ・ 分解しない
 - ・ 落としたり、踏むなどの強い衝撃を与えない
 - ・ 飲み物などをこぼしたり、水たまりなど、水中に落下させない（防滴構造ですが、できるだけ水にぬらさないでください）
- ワイヤレスリモコンの清掃にシンナー、ガソリン、ベンジンなどの溶剤を使用しないでください。
表面が変形するおそれがあります。清掃するときは、水またはぬるま湯を布などに含ませ、固くしぼってからふいてください。

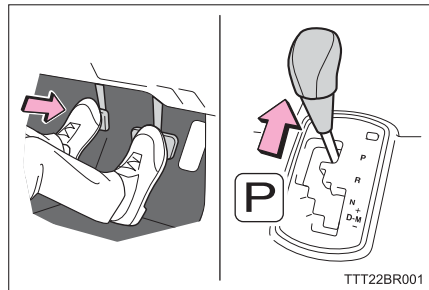
助手席リフトアップシートの操作をするときは

助手席リフトアップシートは、助手席シートを回転・昇降させ、車外へ出すことができます。

- 操作はすべて介助の方が行ってください。
- 格納後は助手席リフトアップシートを前後左右にゆすり、助手席リフトアップシートが確実に格納されたことを確認してください。

助手席リフトアップシートを操作する前に

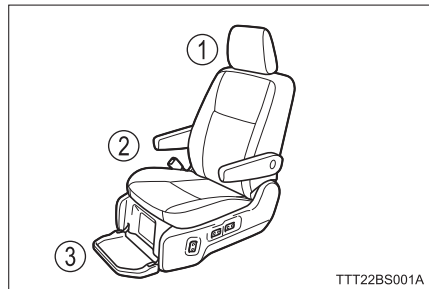
- 1 安全で平坦な場所にエンジンをかけたまま停車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPの位置にする



- 2 助手席リフトアップシートの周囲および作動範囲内に、人や荷物が無いことを確認する
- 3 助手席リフトアップシートのシートベルトをはずす
はずしたシートベルトがアームレストにかかっていないことを確認してください。

- 4 助手席リフトアップシートを回転・昇降するときには、助手席リフトアップシートを次の状態に調整する

- ① ヘッドレストをいちばん下げた位置にする
- ② アームレストをいちばん下げた位置にする
- ③ フットレストをいちばん下げた位置にする



TTT22BR001

TTT22BS001A

5 車両が次の状態になっていることを確認する

- ・グローブボックスのフタが閉まっていること
- ・サンバイザーが格納してあること
- ・助手席側セカンドシートが格納（チップアップ状態に）されていないこと（FF車）
- ・助手席側セカンドシートの背もたれが前方に倒れていないこと（4WD車）

知識

■ ブザーについて

動作や状況に応じて次のようにブザーが鳴ります。

ブザー		動作・状況
ピーッ		ワイヤレスリモコンまたはシート昇降スイッチを押して助手席リフトアップシートが作動するとき
ピピッ		シート上昇スイッチを押して助手席リフトアップシートが車内に格納完了したとき
		シート下降スイッチを押して助手席リフトアップシートが車外に下降完了したとき
警告時	ピー…※	助手席ドアを閉めたままシート下降スイッチを押したとき
		助手席リフトアップシートでシートベルトを着用したままシート下降スイッチを押したとき
	ピーピー…	助手席リフトアップシートが完全に格納されていない状態で、助手席ドアを閉めたとき
		助手席リフトアップシートが完全に格納されていない状態で、助手席リフトアップシートでシートベルトを着用したとき
ピピピッ		助手席リフトアップシートが作動中、障害物にあたるなど助手席リフトアップシートの作動がさまたげられたとき

※：スイッチを押しているあいだ、鳴り続けます。

■ Stop & Start システムについて

Stop & Start システムによるエンジン停止中、助手席ドアを開けるとエンジンが再始動します。

警告

■チャイルドシートの装着禁止

→ P.9

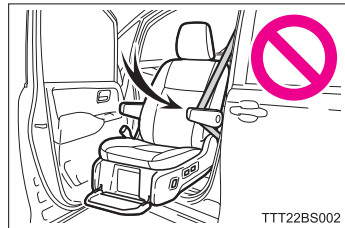
■強風時の助手席ドアについて

→ P.11

■助手席リフトアップシートを操作する前に

- 助手席リフトアップシートに深く着座できない方、ひざや首が曲がらない方の場合は、足や頭がボデーにあたり、座った状態での助手席リフトアップシートの回転が困難になりますのでご注意ください。
- 必ず平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをPの位置にしてください。(→ P.8)
車いすや助手席リフトアップシートから転落するなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 助手席リフトアップシートのシートベルトが確実にはずしてあること、およびシートベルトがアームレストに引っかかかっていないことを確認してください。シートベルトがアームレストに引っかかったまま助手席リフトアップシートを操作すると、シートベルトが体にかかってけがをしたり、助手席リフトアップシートが故障するおそれがあります。



TTT22BS002

■助手席リフトアップシートを操作するときは

- 助手席リフトアップシートに乗車の方の頭上や手足に注意してください。頭をドア開口部にあてたり、ひざや腕をインストルメントパネルやドア開口部にあてるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。(→ P.9)



TTT22BS003

 **警告**

- 助手席リフトアップシート作動時、助手席リフトアップシートの下および周辺に手足や荷物を入れしないでください。(→ P.10)
手足を挟まれけがをしたり、荷物を損傷するおそれがあります。
- フットレストの上で立ち上がらないでください。
フットレストが破損したり、フットレストから落ちてけがをするおそれがあります。
- 必ずアームレストをいちばん下に下げ、使用してください。
乗車姿勢が不安定になったり、転落のおそれがあります。
- グローブボックスのフタを閉めておいてください。
助手席リフトアップシート乗車の方の腕や足がフタにあたってけがをしたり、助手席リフトアップシートが損傷したり、フタが破損するおそれがあります。

 **注意****■ 損傷などを防ぐために**

- 助手席リフトアップシートを操作する前に、可動部周辺に障害物がないことを確認してください。
障害物と助手席リフトアップシートがあたり、破損するおそれがあります。
- 助手席リフトアップシートのリフト能力 100kg をこえないようにしてください。
助手席リフトアップシートが故障するおそれがあります。

■ バッテリーあがりを防ぐために

助手席リフトアップシートを操作するときは、エンジンをかけておいてください。

エンジンを停止した状態で操作すると、バッテリーあがりの原因になります。また、バッテリーの容量が不足しているときにエンジンを停止した状態で助手席リフトアップシートを操作すると、助手席リフトアップシートが作動中に停止することがあります。

助手席リフトアップシートを車外に出すときは

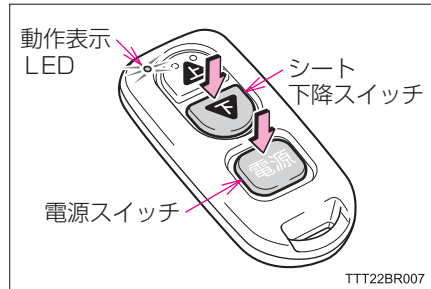
1 助手席ドアを全開にする

2 操作前に、次の状態を確認する

- ・ 助手席リフトアップシートに乗車している方が正しい乗車姿勢であること (→ P.23)
- ・ 助手席リフトアップシートでシートベルトを着用していないこと
- ・ 助手席リフトアップシートの状態 (→ P.27)
- ・ 助手席側セカンドシート同乗者の安全
- ・ 車両の状態 (→ P.28)

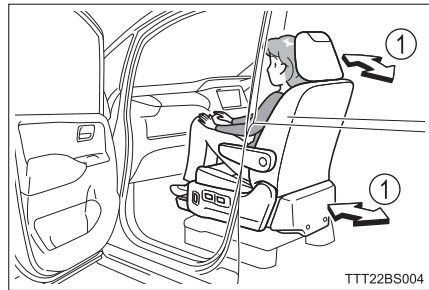
3 ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、動作表示 LED が赤色点灯中 (6 秒以内) にシート下降スイッチを押し続け、助手席リフトアップシートを回転・下降させる

シート昇降スイッチで操作することもできます。(→ P.39)



① “ピーツ” とブザーが鳴り、回転開始位置まで助手席リフトアップシートが動きます。

動作表示 LED が緑色に点滅します。



② 助手席リフトアップシートが回転しながら車両前方に移動します。



- ③ 助手席リフトアップシートが車外へスライドし、下降します。
 下降が停止し、“ピピッ”とブザーが鳴ったらスイッチから指を離します。



TTT22BS006

- 4 助手席リフトアップシートの高さを調整するときは、次のように操作する
- ① ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押す
 - ② シート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押し、助手席リフトアップシートを動かす

知識

■ 作動条件について

次の場合はシート下降スイッチを押すと、“ピー…”とブザーが鳴り、助手席リフトアップシートは回転および下降しません。(→ P.28)

- 助手席ドアが閉まっている
- 助手席リフトアップシートでシートベルトを着用している

■ ワイヤレスリモコンについて

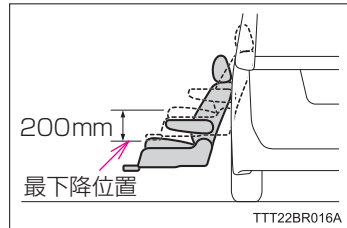
- 電源スイッチを押してから 6 秒以内にシート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押さないと、自動的に電源が切れます（動作表示 LED 消灯）。シート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押すと、電源はスイッチから指を離した時点より 6 秒延長します。
- シート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押し、“ピーッ”とブザーが鳴ってから作動します(→ P.28)。断続的にスイッチを押しても助手席リフトアップシートは作動しません。
- 助手席リフトアップシート作動中にシート下降スイッチまたはシート上昇スイッチから指を離すと、助手席リフトアップシートはその位置で停止します。
- 複数のスイッチを同時に押すと、助手席リフトアップシートは作動しません。

知識

■ 自動メモリー機能について

助手席リフトアップシートを車外に出すときは、前回助手席リフトアップシートを下降させた位置（車内にもどす前の位置）がメモリー位置として記憶されています。

- メモリー位置まで助手席リフトアップシートが下降・停止すると、“ピピッ”とブザーが鳴り、メモリー位置まで助手席リフトアップシートが下降したことをお知らせします。
- 助手席リフトアップシート停止後、ワイヤレスリモコンまたはシート昇降スイッチを操作し、高さを調整すると、調整後の位置をメモリー位置として記憶します。
(メモリー範囲：最下降位置～200mm)



■ 作動について

助手席リフトアップシートの作動中、障害物にあたるなど助手席リフトアップシートの作動がさまたげられた場合、“ピピピッ”とブザーが鳴り（→P.28）、下記のように停止します。

この場合、乗車の方の手足などが車両にあたっていないことを確認し、障害物を取り除くなどしたあと、ワイヤレスリモコンの電源を入れ、シート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押すと正常な作動にもどります。

作動状態	助手席リフトアップシートの動き
助手席リフトアップシートがスライドおよび回転中	少し反転して停止
助手席リフトアップシートが昇降中	その場で停止

 **警告****■ 助手席リフトアップシートを車外に出す前に**

- 必ず助手席側セカンドシートの同乗者の安全を確認してください。
- 必ず助手席ドアを全開にしてください。(→ P.8)
全開にしないと助手席リフトアップシート操作時、助手席リフトアップシート乗車の方の足が助手席ドアと接触し、けがをするおそれがあります。また、フットレストとドアトリムがあたり、損傷するおそれがあります。

 **注意****■ 故障や損傷を防ぐために**

- 断続的にシート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押さないでください。
故障の原因になりますので、スイッチは押し続けてください。
- スwitchの切りかえ操作をするときは、約 1 秒以上たってから行ってください。
瞬時に切りかえを行うと、助手席リフトアップシートが故障するおそれがあります。
- 助手席リフトアップシートを車外に出したまま放置しないでください。
特に炎天下・雨天・寒冷時などにおいて、カバー類の変形やモーターなどの凍結、錆び付きなどのおそれがあります。

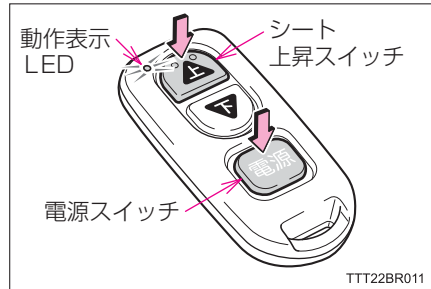
助手席リフトアップシートを車内にもどすときは

1 操作前に、次の状態を確認する

- ・ 助手席ドアが全開になっていること
- ・ 助手席リフトアップシートに乗車している方が正しい乗車姿勢であること (→ P.23)
- ・ 助手席リフトアップシートの状態 (→ P.27)
- ・ 助手席側セカンドシート同乗者の安全
- ・ 車両の状態 (→ P.28)

2 ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、動作表示 LED が赤色点灯中 (6 秒以内) にシート上昇スイッチを押し続け、助手席リフトアップシートを上昇・回転させる

シート昇降スイッチで操作することもできます。(→ P.39)



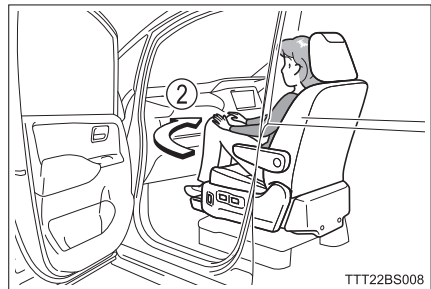
① “ピーッ” とブザーが鳴り、助手席リフトアップシートが上昇・車内へスライドします。

- ・ 動作表示 LED が緑色に点滅します。
- ・ 助手席リフトアップシートは上昇・車内へスライド中に車両に接触しないように、背もたれが少し動きます。



② 助手席リフトアップシートが車両後方に移動しながら回転します。

いっぱいまで回転し、自動的に停止 (完全に格納) し、“ピピッ” とブザーが鳴ってから、スイッチから指を離します。



- 3 必要に応じて助手席リフトアップシートの調整(→ P.17～22)をし、走行前に必ずシートベルトを着用する(→ P.11)
正しくシートベルトを着用していることを介助の方が確認してください。
- 4 助手席ドアを閉める
ただちに走行しないときは、エンジンを停止してください。

知識

■ ワイヤレスリモコンについて

- 電源スイッチを押してから6秒以内にシート上昇スイッチまたはシート下降スイッチを押さないと、自動的に電源が切れます(動作表示LED消灯)。シート上昇スイッチまたはシート下降スイッチを押すと、電源はスイッチから指を離れた時点より6秒延長します。
- シート上昇スイッチまたはシート下降スイッチを押し、“ピーツ”とブザーが鳴ってから作動します(→ P.28)。断続的にスイッチを押しても助手席リフトアップシートは作動しません。
- 助手席リフトアップシート作動中にシート上昇スイッチまたはシート下降スイッチから指を離すと、助手席リフトアップシートはその位置で停止します。
- 複数のスイッチを同時に押すと、助手席リフトアップシートは作動しません。

■ 自動メモリー機能について

助手席リフトアップシートを車内にもどすときは、助手席リフトアップシートを車外に出す前の前後位置・背もたれ角度(P.31の3)の①の操作前の状態)がメモリー位置として記憶されています。

- メモリー位置まで助手席リフトアップシートが回転・停止すると、“ピピツ”とブザーが鳴り、メモリー位置まで助手席リフトアップシートがもどった(完全格納した)ことをお知らせします。
- 助手席リフトアップシートが車内に格納されたあと、メモリー位置まで完全にもどる途中でシート上昇スイッチから指を離すと、助手席リフトアップシートの作動が停止し、再度シート上昇スイッチを押しても作動しなくなります。その場合は、シート前後スライドスイッチ・シートリクライニングスイッチを操作して、助手席リフトアップシートの位置を調整してください。
- 助手席リフトアップシート停止後、シート前後スライドスイッチまたはシートリクライニングスイッチを操作し、前後位置・背もたれ角度を調整すると、調整後の位置をメモリー位置として記憶します。

 知識

■ 作動について

助手席リフトアップシートの作動中、障害物にあたるなど助手席リフトアップシートの作動がさまたげられた場合、停止します。(→ P.33)

この場合、乗車の方の手足などが車両にあたっていないことを確認し、障害物を取り除くなどしたあと、ワイヤレスリモコンの電源を入れ、シート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押すと正常な作動にもどります。

■ 助手席リフトアップシートを車内に格納したときは

助手席リフトアップシートでシートベルトを着用したとき、または助手席ドアを閉めたときにブザー（“ピーピー” という断続音）が鳴った場合は、助手席リフトアップシートの格納が不完全です。(→ P.28)

助手席ドアを開け、シートベルトをはずした状態でワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、シート上昇スイッチを押し続け、助手席リフトアップシートが自動的に停止し、“ピピッ” とブザーが鳴ったことを確認し、シートベルトの着用および助手席ドアを閉めてください。

 警告

■ 助手席リフトアップシートを車内にもどす前に

- 必ず助手席側セカンドシートの同乗者の安全を確認してください。
助手席リフトアップシートを車内にもどすとき、助手席リフトアップシートと車両のあいだに足を挟まれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



- 必ず助手席ドアが全開になっていることを確認してください。
全開になっていないと助手席リフトアップシート操作時、助手席リフトアップシート乗車の方の足が助手席ドアと接触し、けがをします。また、フットレストとドアトリムがあたり、損傷するおそれがあります。

■ 助手席リフトアップシートを車内に格納したときは

→ P.10

■ 走行する前の安全確認

→ P.11

 **注意****■故障・損傷を防ぐために**

- 助手席リフトアップシートを車内にもどす前に、FF車にお乗りの方は助手席側セカンドシートが格納（チップアップ状態に）されていないこと、4WD車にお乗りの方は助手席側セカンドシートの背もたれが前方に倒れていないことを必ず確認してください。
助手席リフトアップシートがメモリー位置までもどるとき、助手席リフトアップシートの背もたれが助手席側セカンドシートにあたり、破損するおそれがあります。
- 断続的にシート上昇スイッチまたはシート下降スイッチを押さないでください。
故障の原因になりますので、スイッチは押し続けてください。
- スwitchの切りかえ操作をするときは、約 1 秒以上たってから行ってください。
瞬時に切りかえを行うと、助手席リフトアップシートが故障するおそれがあります。

シート昇降スイッチでの操作

ワイヤレスリモコンの電池切れ、故障および紛失などにより使用できないときは、シート昇降スイッチを使用して助手席リフトアップシートの回転および昇降操作を行います。

(助手席リフトアップシートの作動は、ワイヤレスリモコンで操作した場合と同じです)

シート昇降スイッチによる操作のしかた

- 1 助手席ドアを全開にする
- 2 シート昇降スイッチの上側または下側を押し続ける
“ピーッ”とブザーが鳴り助手席リフトアップシートが作動します。

① 上昇・回転する

② 回転・下降する

- ・スイッチを押しているあいだ、助手席リフトアップシートが作動します。
- ・スイッチから指を離すと、助手席リフトアップシートはその位置で停止します。



TTT22BS010

- 3 助手席リフトアップシートが自動的に停止したらスイッチから指を離す

- ・助手席リフトアップシートを車外に出すときは、下降が停止（メモリー位置まで下降）し“ピピッ”とブザーが鳴ってから、スイッチから指を離します。
- ・助手席リフトアップシートを車内にもどすときは、自動的に停止（完全に格納）し“ピピッ”とブザーが鳴ってから、スイッチから指を離します。

 知識

■ シート昇降スイッチについて

助手席リフトアップシートはシート昇降スイッチを押し、“ピーツ”とブザーが鳴ってから作動します。(→ P.28)

 注意

■ 故障を防ぐために

断続的にスイッチを押さないでください。
故障の原因になりますので、スイッチはそのまま押し続けてください。

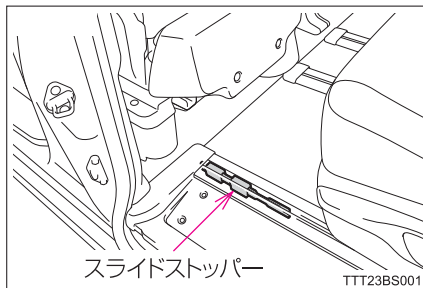
助手席側セカンドシート

セカンドシートについて、標準車との相違点を記載しています。

スライドストッパー

助手席リフトアップシートと助手席側セカンドシートがあたることを防ぐため、スライドストッパーで助手席側セカンドシートの前方スライドを規制しています。

スライドストッパーは取りはずさないでください。(右図は4WD車)



サードシートへの乗り降り

運転席側セカンドシートを操作して、運転席側から乗り降りする(→標準車取扱書の「セカンドシート」)

⚠ 警告

■ スライドストッパーについて

スライドストッパーは取りはずさないでください。

スライドストッパーを取りはずすと、助手席側セカンドシートが助手席リフトアップシートの作動範囲内まで動くため、シートに挟まれけがをしたり、助手席リフトアップシートと助手席側セカンドシートがあたり、破損するおそれがあります。

■ 助手席側セカンドシートを前方にスライドするときは

● 助手席側セカンドシートの座面に手を添えて操作しないでください。

助手席側セカンドシートの座面と助手席リフトアップシートのカバーのあいだで手を挟まれ、けがをすることがあります。

● 人が座った状態で助手席側セカンドシートを前方にスライドするときは、助手席側セカンドシート乗車の方の足が助手席リフトアップシートにあたらないよう注意してください。

スライドストッパーを取り付けた状態でも助手席側セカンドシートは助手席リフトアップシートにあたる直前まで前方にスライドするため、前方スライドさせすぎると助手席側セカンドシート乗車の方が足を挟まれ、けがをすることがあります。

手動車いす用固定装置

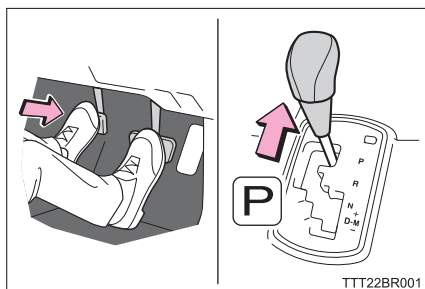
3

- 3-1. 手動車いす用固定装置
 - 車いすの収納・固定前の準備 .. 44
 - 車いす固定ベルト 46
- 3-2. 車いすの収納・固定
 - 固定・解除のしかた 50

車いすの収納・固定前の準備

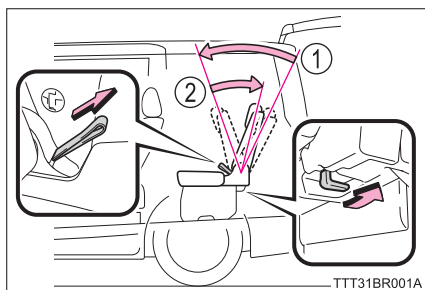
車いすを出し入れする前に

- 1 安全で平坦な場所に停車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPの位置にする



- 2 バックドアを全開にする
- 3 サードシートの背もたれを次のように調整する（左右とも）

- ① リクライニングストラップまたはワンタッチスペースアップレバーを引きながら、背もたれを車両前側に少し倒す
- ② リクライニングストラップまたはワンタッチスペースアップレバーを引かずに背もたれを起こし、ロックさせる



知識

■ 収納可能な車いすのサイズ

収納可能な車いすは下表のサイズのものになります。

大車輪径	全高	全長	折りたたみ幅
24インチ 以下	960mm 以下	1100mm 以下	330mm 以下

 知識

■ バックドアについて

全開にしないと、車いす収納時、バックドアと車いすがあたり、車いすの収納が困難になります。

■ サードシートについて

サードシート格納時、車いすを固定することはできません。車いすを収納・固定するときは、必ずサードシートを着座状態にし、背もたれをいちばん起こした位置にしてください。(→ P.44)

 警告

■ 車いすを収納・固定するときは

- 必ず平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをPの位置にしてください。(→ P.8)
車いすが傾いて体や車両にあたるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- サードシートの背もたれを調整するときは、背もたれを押さえながらリクライニングストラップまたはワンタッチスペースアップレバーを操作してください。
背もたれを押さえずにリクライニングストラップまたはワンタッチスペースアップレバーを操作すると背もたれが急に動き、けがをするおそれがあります。

 注意

■ 荷物や車いすの損傷を防ぐために

車いすを収納する前にラゲージルーム内に荷物が無いことを確認してください。
車いすの収納が困難になるばかりでなく、荷物や車いすを損傷するおそれがあります。

車いす固定ベルト

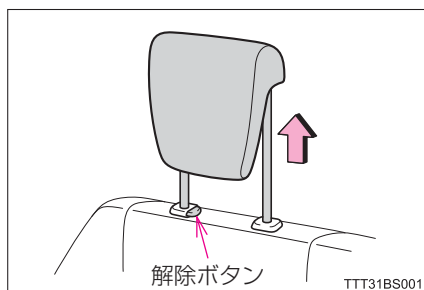
車いすを固定するための車いす固定ベルトは次のように使用してください。

車いす固定ベルトを車両へ取り付けるときは

1 車いす固定ベルトをラゲージルームから取り出す

2 サードシート左右席のヘッドレストを取りはずす

解除ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。



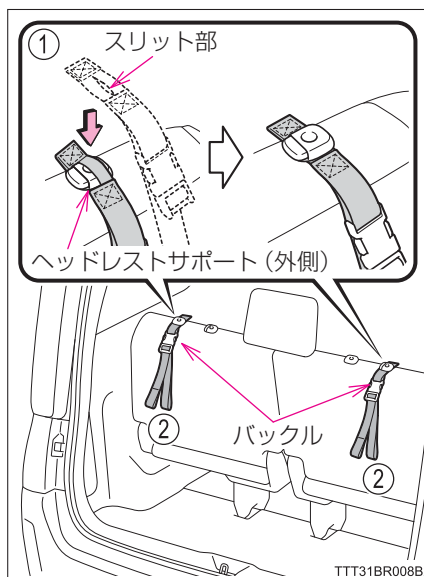
3 車いす固定ベルト A をサードシート左右席のヘッドレスト部に取り付ける

① 車いす固定ベルト A のスリット部をシート外側のヘッドレストサポートに通し、ヘッドレストサポートとシートのあいだに挟むように取り付ける

右側席は先に解除ボタンのある側から通すと、容易に取り付けられます。

② バックルが手前（車両後方）側を向いていることを確認する

バックルが奥（車両前方）側を向いている場合は、車いす固定ベルトの取り付けをやり直してください。

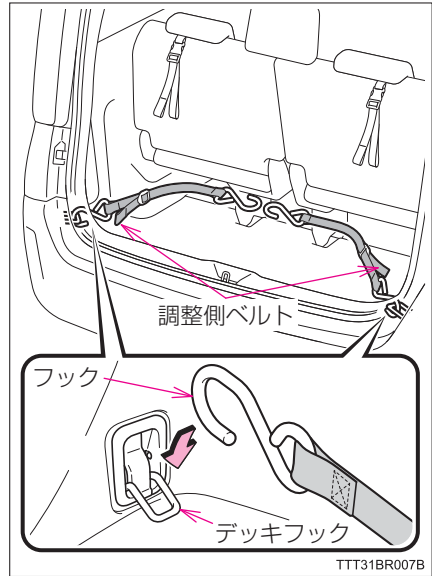


4 サードシート左右席にヘッドレストを取り付け、乗員がいないときはヘッドレストを下げる

解除ボタンを押しながら操作します。

5 車いす固定ベルト B のフックをデッキフックに上からかける

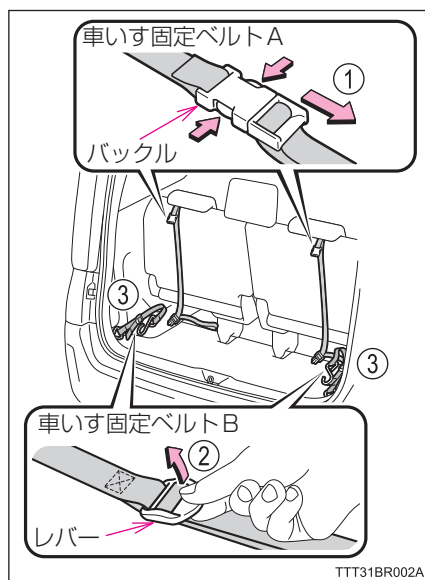
調整側ベルトがデッキフック側を向くようにフックを掛けてください。(調整側ベルトがデッキフックと逆側を向いている場合は、車いす固定ベルトの取り付けをやり直してください)



車いすをラゲージルーム内に収納・固定するときは

ラゲージルーム内に何も置かれていない状態にします。

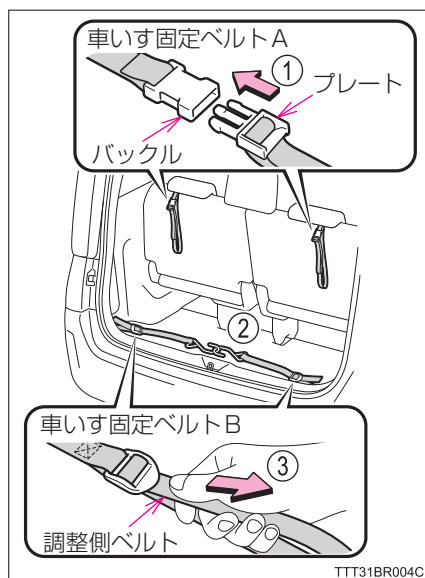
- ① 車いす固定ベルト A のバックルのロックを解除する
- ② 車いす固定ベルト B のバックルのレバーを引き上げて車いす固定ベルト B をゆるめ、十分にのばす
- ③ 車いす固定ベルト B のフック（デッキフックにかけていない側）をはずし、ラゲージルームのすみによけておく（2 本とも）



車いすをラゲージルーム内に収納・固定しないときは

車いす固定ベルトがラゲージルーム外に出ないようにします。

- ① 車いす固定ベルト A のバックルをロックする
プレート
- ② 車いす固定ベルト B のそれぞれのフックを引っかける
- ③ 車いす固定ベルト B の調整側ベルトを引っ張り、フックが走行中にはずれないようにする



 知識

■ 車いす固定ベルトについて

- 車いすを収納するときは、車いす固定ベルト B をラゲージルーム内中央に放置しないでください。車いす収納時、車いすの下敷きになり、車いす固定ベルト B の操作が困難になります。
- 車いすを収納・固定しないときは、車いす固定ベルト B をバックドアに挟んだりしないようにするため、それぞれのフックを引っかけてください。
(→ P.48)

■ デッキボードを開閉するときは

車いす固定ベルト B のフックをデッキフックから取りはずし、デッキフックをたたんでください。

 注意

■ 損傷を防ぐために

サードシートの格納およびもどす操作をするときは、必ず車いす固定ベルト B を P.48 の状態にしてください。
車いす固定ベルト B を放置した状態でサードシートの格納およびもどす操作を行うと、車いす固定ベルト B を挟み込み、車いす固定ベルト B の損傷やロック機構が破損するおそれがあります。

固定・解除のしかた

車いすの固定・解除については次のように行ってください。

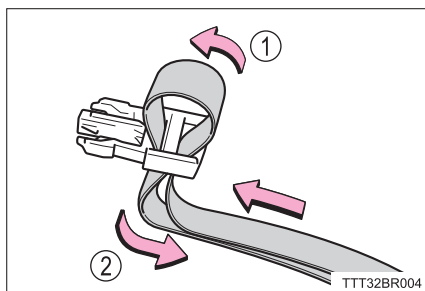
収納・固定のしかた

- 1 車いすを折りたたみ、後輪のブレーキを両輪ともかける
 - ・ 車いすの折りたたみ方、ブレーキのかけ方については、お使いの車いすの取扱説明書を参照してください。
 - ・ P.44 の「収納可能な車いすのサイズ」を確認してください。

- 2 車いすを立てたままラゲージルーム内に収納する

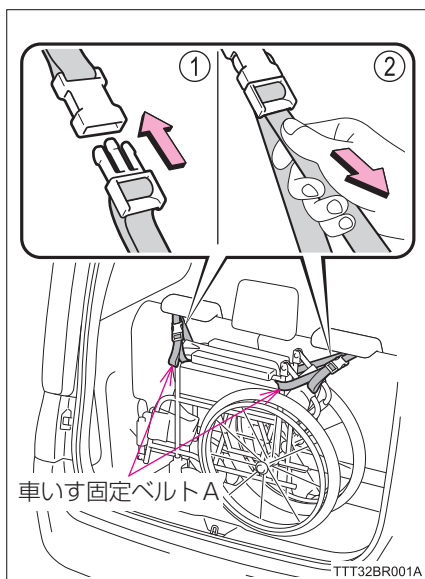
- 3 車いす固定ベルト A を十分にのばす

- ① 調整側ベルトをプレート側に押し込む
- ② 下側のベルトを引く

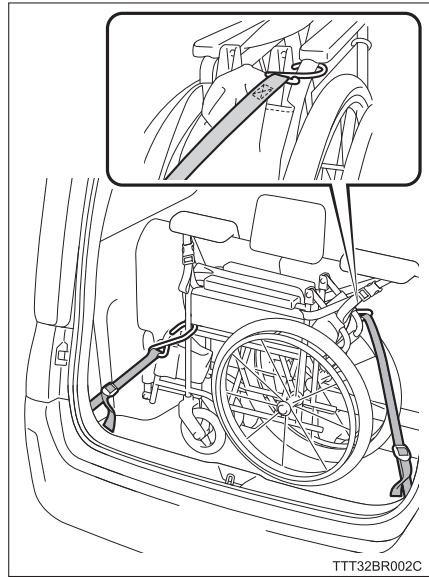


- 4 次の場所を目安に、車いす固定ベルト A を車いすに取り付ける

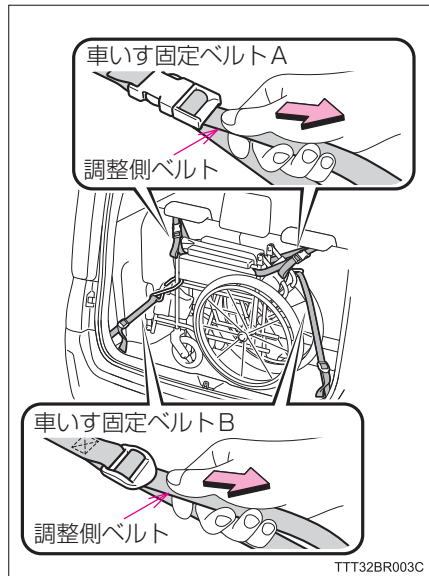
- ① 車いす固定ベルト A を車いすのフレームに通し、プレートをバックルに挿し込む
- ② 調整側ベルトを引っ張り、車いすを仮固定する



- 5 車いす固定ベルトBのフックを、車いすの奥側のハンドル付け根およびフレームを目安に引っかける



- 6 車いす固定ベルトA、Bの調整側ベルトを引っ張り、車いすを確実に固定する



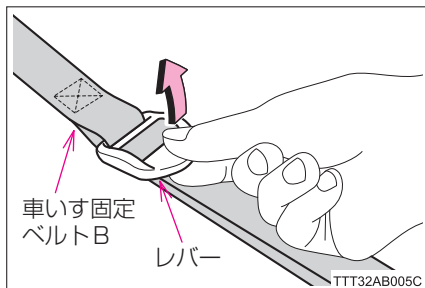
固定後、走行する前に

バックドアを閉める

バックドアを閉めるときは、車いすを挟み込まないこと、および車いすのハンドルなどがバックドアガラスにあたらないことを確認しながら、ゆっくりと閉めてください。

解除のしかた

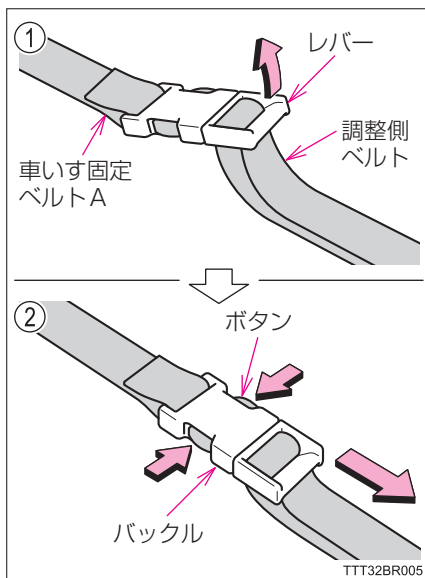
- 1 車いす固定ベルトBのバックルのレバーを引き上げ、車いす固定ベルトBをゆるめる（2本とも）



- 2 車いすを手で支えながら、車いす固定ベルトBのフックを車いすから取りはずす（2本とも）

- 3 車いす固定ベルトAをゆるめる（2本とも）

- ① 車いす固定ベルトAのレバーを引き上げ、調整側ベルトをゆるめる
- ② バックルのボタンを押してロックを解除する



- 4 車いすを手で支えながら、車いす固定ベルトAを車いすから取りはずす（2本とも）

 **警告****■ 車いすを固定・解除するときは**

車いすに手を添えて、車いすが動かないようにしてください。
車いすが倒れて体にあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■ 車いすを固定したときは

固定後、車いすを前後左右にゆすり確実に固定されていることを確認してください。
急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに車いすが車室内にとび込み、重大な事故につながるおそれがあり危険です。

 **注意****■ 損傷を防ぐために**

- 車いすを固定・解除するときは、車いすに手を添えて、車いすが動かないようにしてください。
車いすが倒れ、車いすや車両を損傷するおそれがあります。
- 車いす固定ベルトにねじれがないこと、鋭利な角部にあたっていないことを確認してください。
車いす固定ベルトを正しくかけないと、車いす固定ベルトが切れるおそれがあります。
- 車いす固定後、車いすを前後左右にゆすり確実に固定されていることを確認してください。
 - ・ バックドアを閉めるとき、バックドアおよびバックドアガラスと車いすがあたるおそれがあります。
 - ・ 走行中に車いすがサードシートやバックドアなどにあたり、車いすや車両を損傷するおそれがあります。
- バックドアはゆっくりと閉めてください。
バックドアをいきおいよく閉めると、車いすがバックドアなどにあたり、損傷するおそれがあります。
- サードシートをリクライニング操作する場合は車いす固定後、バックドアを閉めた状態で、車いすがサードシートやバックドアなどにあたらないことを確認しながらゆっくりと行ってください。
 - ・ 車いすがサードシートやバックドアなどにあたり、車いすや車両を損傷するおそれがあります。
 - ・ リクライニング操作後、車いすを前後左右にゆすり確実に固定されていることを確認してください。

万一の場合には

4

- 4-1. 故障かな？と
お考えになる前に
 - ヒューズの交換 56
 - 助手席リフトアップシートが
動かないときは..... 58
 - ワイヤレスリモコンの
電池交換 59
- 4-2. 緊急時の対処法
 - 助手席リフトアップシートが
車外に出た状態で
動かないときは..... 61

ヒューズの交換

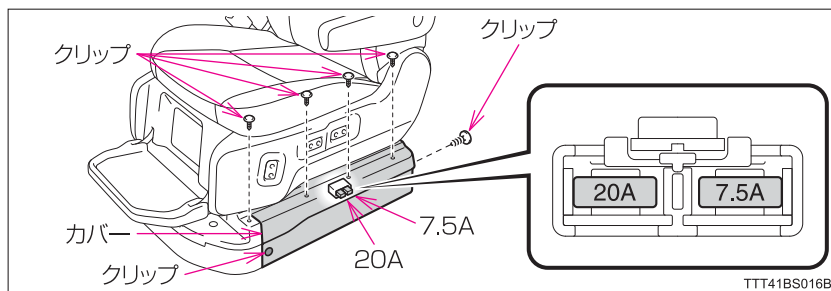
スイッチを押しても助手席リフトアップシートが動かないときは、ヒューズ切れが考えられます。

ヒューズが切れたときは、必ず規定容量のヒューズと交換してください。

ヒューズ位置

■ 助手席リフトアップシート左側下部

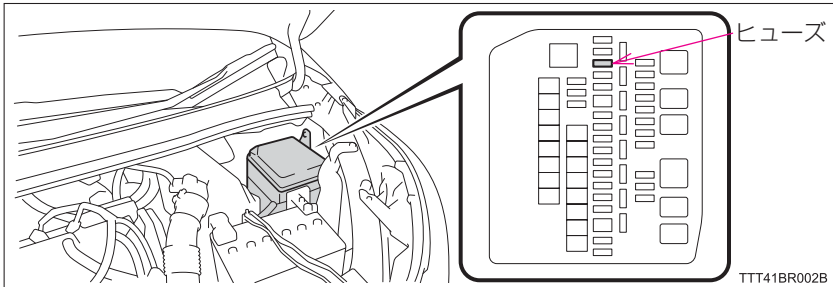
- 1 クリップ6本を取りはずす
- 2 カバーを取りはずす



アンペア数	使用装置
7.5A、20A	助手席リフトアップシート

■ エンジンルーム内左側ヒューズボックス

ヒューズの点検・交換方法については、標準車取扱書の「ヒューズの点検・交換」をお読みください。



ヒューズ名称	アンペア数	使用装置
WELCAB NO.1	30A	助手席リフトアップシート

■ 知識

■ ヒューズを交換したあとは

次の場合はトヨタ販売店で点検を受けてください。

- 交換しても再びヒューズが切れるとき
- 交換しても助手席リフトアップシートが動かないとき

▲ 警告

■ 車の故障や火災を防ぐために

次のことをお守りください。

お守りいただかないと車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- 規定容量以外のヒューズまたはヒューズ以外のものを使用しない
- 必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用する
- ヒューズやヒューズボックスを改造しない

助手席リフトアップシートが動かないときは

次の処置をしてください。

作動条件の確認

作動条件をすべて満たしていることを確認してください。(→ P.32)

ヒューズの点検・交換

作動条件をすべて満たしていても作動しない場合は、ヒューズを点検・交換してください。(→ P.56)

作動条件の確認およびヒューズの点検・交換をしても動かない場合

すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。
修理が完了するまで、絶対に助手席リフトアップシートを使用しないでください。

■ 車内に入った状態で動かない場合

そのままトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ 車外に出た状態で動かない場合

P.61 以降の要領で助手席リフトアップシートを車内にもどし、そのままトヨタ販売店で点検を受けてください。

知識

■ バッテリーの取り扱いについて

→ P.14

ワイレスリモコンの電池交換

電池が消耗しているときは、新しい電池に交換してください。

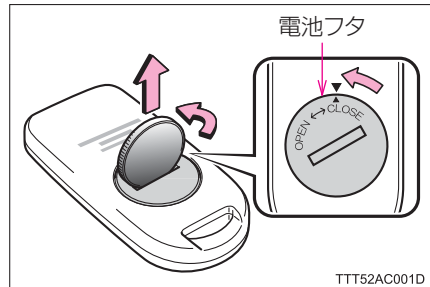
用意するもの

- コインなど、電池フタの溝に挿し込めるもの
- リチウム電池 CR2032

電池交換のしかた

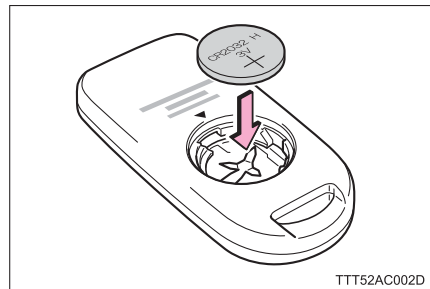
1 電池フタをはずす

コインなどを電池フタの溝に挿し込み、▲マークが合う位置まで OPEN 側にまわし、電池フタをはずします。



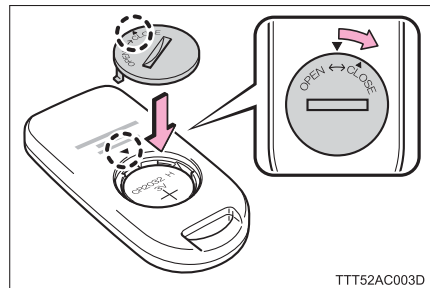
2 電池を交換する

電池を取り出し、新しい電池の+側を上（電池フタ側）にして挿入します。



3 電池フタをはめる

- ・ 電池フタと送信機の▲マークを合わせてはめます。
- ・ コインなどを電池フタの溝に挿し込み、CLOSE 側にまわし、電池フタを締め込みます。



4 作動確認をする

電源スイッチを押し、動作表示 LED が赤色点灯中（6 秒以内）にシート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押し、動作表示 LED が緑色点滅することを確認します。

 **知識****■ リチウム電池 CR2032 の入手**

電池はトヨタ販売店、時計店、カメラ店などで購入できます。

 **警告****■ 取りはずした部品や電池について**

お子さまにさわらないでください。

部品が小さいため、誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **注意****■ 交換後、正常に機能させるために**

次のことをお守りください。

- 電池交換時に部品を紛失しない
- 電池フタを曲げたりしない
- 電池以外の部品にふれたり、動かしたりしない
- 電池の+極と-極は必ず正しい向きにして挿入する
- 電池挿入部の電極を曲げたり、ゴミや油などを付着させない

助手席リフトアップシートが車外に出た状態で動かないときは

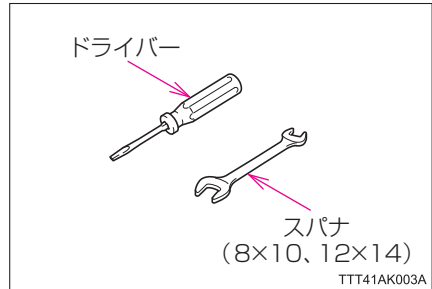
スイッチを押しても助手席リフトアップシートが動かないときは、作動条件の確認またはヒューズを点検・交換してください。(→ P.32, 56)
作動条件の確認およびヒューズを点検・交換しても動かない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

- 万一、助手席リフトアップシートが回転または昇降途中で動かなくなってしまったときは、助手席ドアを閉めることができません。この項目に記載されている要領で車内に格納してください。
- 助手席リフトアップシートに座っている乗員がいる場合は、乗員を安全な場所に移動させてから作業を行ってください。

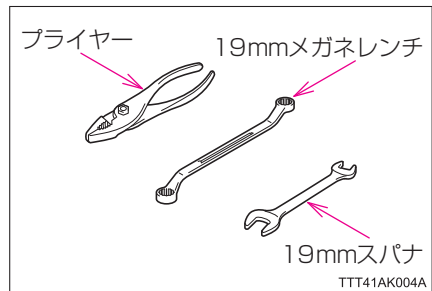
使用工具について

助手席リフトアップシートを手動で車内にもどすときは、次の工具を使用します。

右図の工具が工具袋の中に入っています。(工具袋→標準車取扱書の「パンクしたときは」)



右図のいずれかの工具もあらかじめご用意ください。



リセットについて

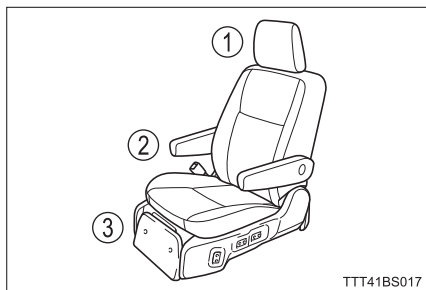
助手席リフトアップシートが動かなくなったときは、リセットを行ってください。

1 操作前に、次の状態を確認する

- ・ 助手席ドアが全開になっていること
- ・ 助手席リフトアップシートのシートベルトが着用状態になっていないこと
- ・ 助手席側セカンドシートに乗員がいないこと
- ・ グローブボックスのフタが閉まっていること
- ・ サンバイザーが格納してあること

2 助手席リフトアップシートを次の状態に調整する

- ① ヘッドレストをいちばん下げた位置にする
- ② アームレストをいちばん下げた位置にする
- ③ フットレストをいちばん上げた位置にする



3 助手席リフトアップシートが停止しているときに、次のようにスイッチを操作する

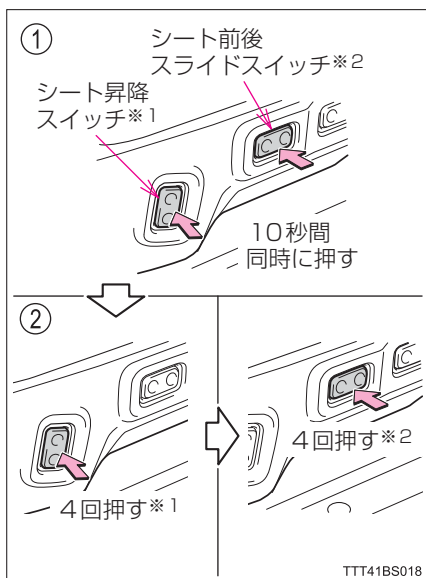
- ① シート前後スライドスイッチとシート昇降スイッチを同時に10秒間押し続ける

10秒間押し続け（“ピー”とブザーが鳴ります）、ブザーが鳴りやんだらスイッチから指を離します。

- ② ブザーが鳴りやんでから10秒以内にシート昇降スイッチおよびシート前後スライドスイッチを各4回押し

・ 正しく押しすと“ピッピー”とブザーが鳴ります。

・ 10秒以内にスイッチを押し終わらなかったり、正しくスイッチを押さなかった場合、“ピー”とブザーが鳴ります。①のスイッチ操作からやり直してください。

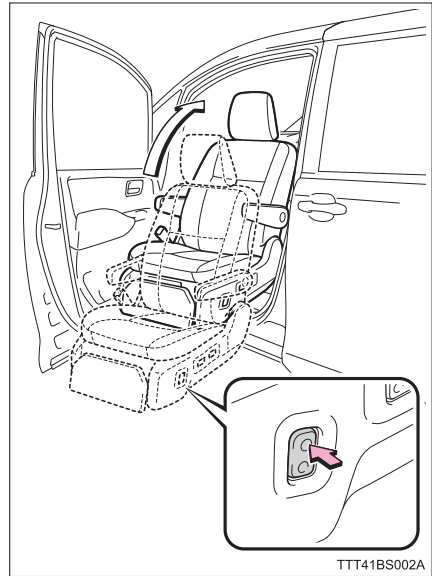


※1：上側・下側どちらでも可

※2：前側・後側どちらでも可

- 4 シート昇降スイッチの上側を押し、助手席リフトアップシートを上昇端リセットおよび車内にスライドさせる

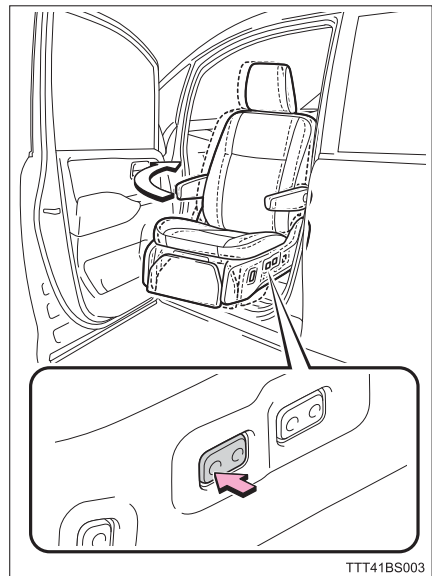
- ・ 助手席リフトアップシートが上昇後に“ピー”とブザーが鳴り（上昇端リセット完了）、助手席リフトアップシートが少し車外にスライドします。
- ・ その後、助手席リフトアップシートが車内にスライドします。助手席リフトアップシートがインストルメントパネルにあたらない位置まで、助手席リフトアップシートを車内にスライドさせます。
- ・ スイッチを押しても助手席リフトアップシートが動かないときは、P.66「スイッチを押しても助手席リフトアップシートが動かないとき」の操作を実施してください。



※：4～9の一連の作動中にリセット解除条件が成立すれば、“ピー”とリセット解除ブザーが鳴り、通常モードに復帰します。（通常作動とは異なります）

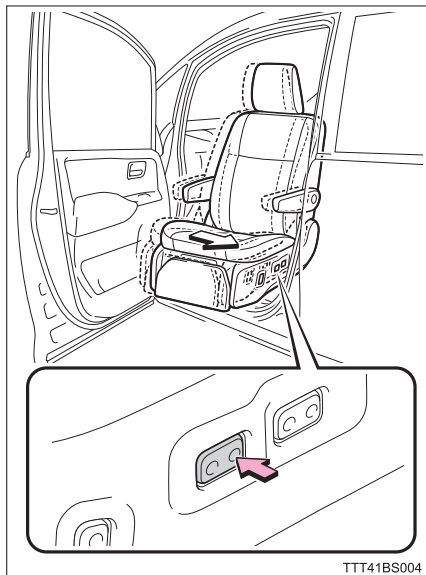
- 5 左側のシート前後スライドスイッチの前側を押し、助手席リフトアップシートを車内に回転させる

助手席リフトアップシートが助手席ドアにあたらない位置まで助手席リフトアップシートを回転させます。



- 6 左側のシート前後スライドスイッチのうしろ側を押し、助手席リフトアップシートを後方にスライドさせる

助手席リフトアップシートがドア開口部にあたらぬ位置まで助手席リフトアップシートをスライドさせます。

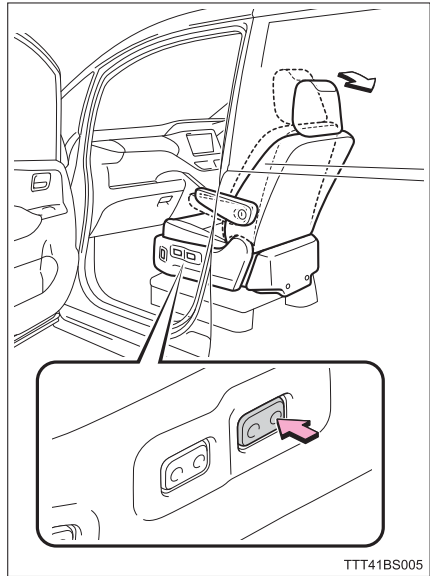


- 7 助手席ドア、インストルメントパネルおよびドア開口部にあたらぬよう、4～6をくり返して助手席リフトアップシートを動かし、外スライド、回転および前後スライドの原点リセットをさせる

- ・ 原点リセットがされると“ピッ”とブザーが鳴ります。
- ・ 助手席リフトアップシートが後方にスライドしない場合は、シート昇降スイッチの下側を押しながらシート前後スライドスイッチのうしろ側を押し、助手席リフトアップシートを前方にスライドさせてから、8の操作をしてください。

- 8 左側のシートリクライニングスイッチのうしろ側を押し、助手席リフトアップシートの背もたれがうしろ側へ倒れ始め、自動的に停止するまでスイッチを押し続ける

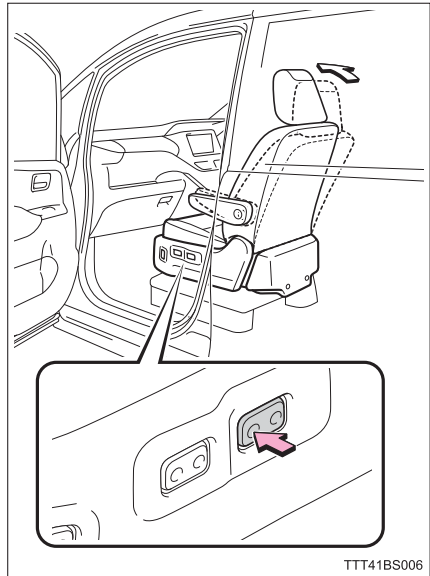
自動的に作動が停止したあと、またはスイッチを押しても背もたれが動かない場合は、9の操作をします。



TTT41BS005

- 9 左側のシートリクライニングスイッチの前側を押し、助手席リフトアップシートの背もたれが前側へ起き始め、自動的に停止するまでスイッチを押し続ける

背もたれの作動が停止し、“ピー”とリセット解除ブザーが鳴るまでスイッチを押し続けます。



TTT41BS006

- 10 各スイッチ操作を行い、助手席リフトアップシートが通常作動することを確認する

- ・ スイッチを押しても助手席リフトアップシートが動かない、または通常作動にもどっていないときは、そのままトヨタ販売店で点検を受けてください。
- ・ リセット後、初回の操作では下降完了時の“ピピッ”というブザーは鳴りません。

スイッチを押しても助手席リフトアップシートが動かないとき

次の要領で格納してください。

ただし、この操作をする前に、必ずリセット操作を実施してください。

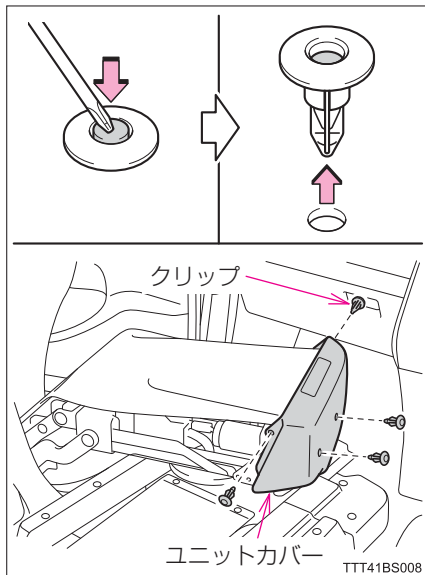
(→ P.62)

■ 助手席リフトアップシートを手動で車内にもどすときは

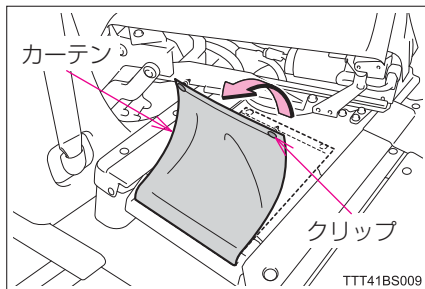
- 1 操作前に、次の状態を確認する
 - ・ 助手席ドアが全開になっていること
 - ・ 助手席側セカンドシートに乗員がいないこと
 - ・ グローブボックスのフタが閉まっていること
 - ・ サンバイザーが格納してあること
- 2 助手席リフトアップシートを次の状態にする
 - ・ ヘッドレストおよびアームレストをいちばん下げた状態にする (→ P.19, 21)
 - ・ フットレストをいちばん上げた状態にする (→ P.22)
- 3 助手席リフトアップシート下部にあるボルト2本を取りはずす



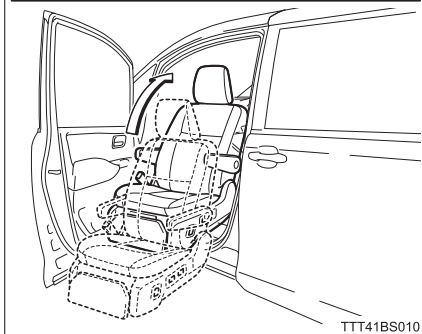
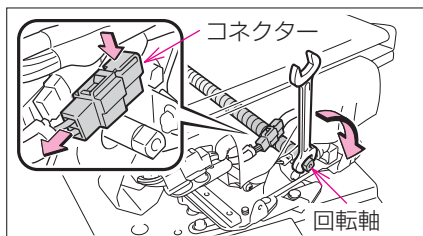
- 4 クリップ4本を取りはずし、助手席リフトアップシートのユニットカバーを取りはずす
- ① クリップの中心をプラスドライバーなど先の細いもので押す
 - ② クリップを引き抜く
 - ③ ユニットカバーを取りはずす



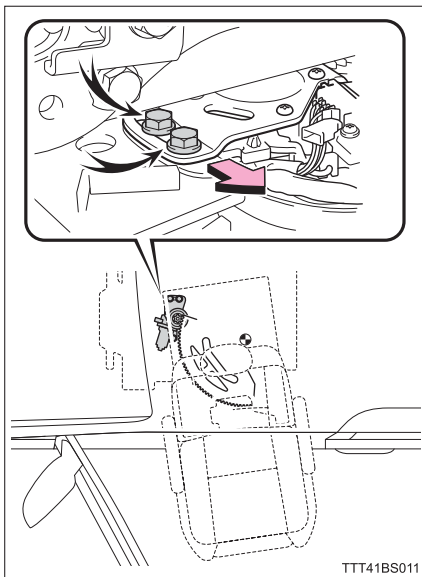
- 5 クリップ2本をはずし、ユニット下部のカーテンを巻き取る



- 6 コネクターをはずしてから、昇降モーターの回転軸を 10mm スパナで右にまわし、助手席リフトアップシートを上昇させる。回転軸がまわらなくなるまでまわし、助手席リフトアップシートを完全に上昇させたあと、回転軸を左にまわし、約 50mm 下降させてください。



- 7 スパナを使用して回転モーターのボルト2本をゆるめ、回転モーターをずらし、ギヤのかみ合いをはずす

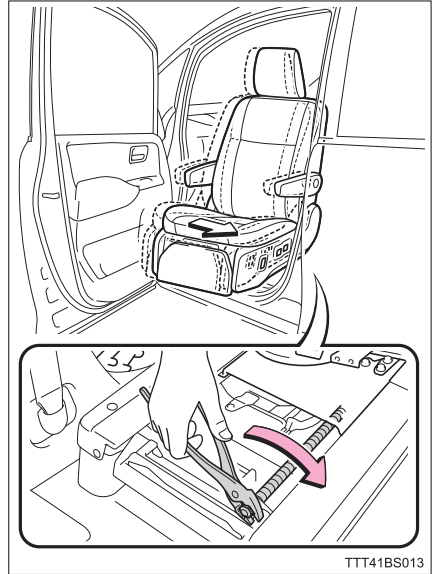


- 8 昇降モーターの回転軸を 10mm スパナで右にまわし、まわらなくなるまで助手席リフトアップシートを上昇させる

- 9** 助手席リフトアップシートを車内にスライドおよび回転させる
 助手席リフトアップシートが助手席ドアおよびインストルメントパネルにあたらないことを確認しながら、車内にスライドおよび回転させます。

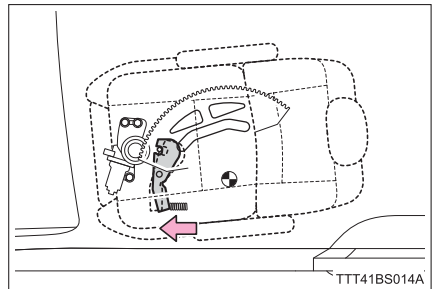


- 10** スライドモーターの回転軸をブライヤー（または 19mm メガネレンチか 19mm スパナ）で右にまわし、助手席リフトアップシートがドア開口部にあたらない位置まで後方にスライドさせる
 回転軸を左にまわすと助手席リフトアップシートが前方にスライドします。



- 11** **9**、**10**をくり返し、助手席リフトアップシートを格納させる

- 12** ストッパーを押してロックを解除し、助手席リフトアップシートを車内に回転させる
 回転完了すると、助手席リフトアップシートはその位置で固定されます。



- 13** 助手席ドアを閉める

助手席リフトアップシートが通常の格納完了位置ではない場合には、助手席ドアを閉めるとブザーが鳴ります（→P.28）。すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。

知識

■ 助手席リフトアップシートを車外に回転させるときは

P.63 の[5]において、シート昇降スイッチの下側を押しながらシート前後スライドスイッチの前側を押し続けます。(スイッチを押す順序が逆の場合および同時に押すと助手席リフトアップシートが停止し、ブザーが鳴ります)

■ 助手席リフトアップシートを前方にスライドさせるときは

P.64 の[6]において、シート昇降スイッチの下側を押しながらシート前後スライドスイッチのうしろ側を押し続けます。(スイッチを押す順序が逆の場合および同時に押すと、助手席リフトアップシートが停止し、ブザーが鳴ります)

■ ブザーについて

- 上記「■ 助手席リフトアップシートを車外に回転させるときは」および「■ 助手席リフトアップシートを前方にスライドさせるときは」以外の複数のスイッチを押すと助手席リフトアップシートが停止し、ブザーが鳴ります。
- 助手席リフトアップシートを車内に格納する途中、助手席ドアを閉めると“ピーピー…”とブザーが鳴ります。(→ P.28)

■ 紛失を防ぐために

取りはずした部品は袋に入れるなどして、紛失しないようにしてください。

警告

■ 修理が完了するまでは

助手席リフトアップシートに座らないでください。

■ 助手席リフトアップシートを手動で格納するときは

- 助手席リフトアップシート格納スペースに手や足を入れないでください。助手席リフトアップシート可動部などで手や足などを挟み、けがをするおそれがあります。



TTT41BS015

- 工具を使用したあとは、所定の場所に確実に保管してください。車室内などに放置すると、急ブレーキをかけたときや、衝突したときなどに、工具が飛んできて乗員にあたるなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

 **注意****■ 破損を防ぐために**

P.62「リセットについて」および P.66「スイッチを押しても助手席リフトアップシートが動かないとき」の操作をするときは、グローブボックスのフタを閉めてください。

助手席リフトアップシートとフタがあたり、助手席リフトアップシートが損傷したり、フタが破損するおそれがあります。

点検・整備項目

5

5-1. 点検・整備項目

定期点検整備 74

定期点検整備

故障を減らして長く大切に使うために、定期点検整備をお願いします。
点検結果を記録する際には、巻末の記録簿を A4 サイズにコピーして使用してください。

点検整備項目	点検時期			交換時期 (年)	備考
	日	自家用車			
		12 か 月 ごと	24 か 月 ごと		
助手席リフトアップシート	スイッチ作動状態（引っかかり・異音がないこと）				
	シート昇降スイッチ	○	○		
	シート前後スライドスイッチ	○	○		
	シートリクライニングスイッチ	○	○		
	収納・下降後のロック状態		○		ガタ（異音）がないこと
車いす固定ベルト	ベルトの損傷				
	汚れ、傷、ほつれ	○			ほつれが始まったら交換

※：空欄については点検および交換の必要はありません。

さくいん

こんなときは (症状別さくいん)	76
車から音が鳴ったときは (音さくいん)	78
五十音順さくいん	80

こんなときは（症状別さくいん）

お困りの際は、トヨタ販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

故障かな？と思ったら



ブザーが鳴りだした

- 「車から音が鳴ったときは（音さくいん）」（P.78）をご確認ください。



助手席リフトアップシートの回転・昇降操作ができない

- 助手席リフトアップシートでシートベルトを着用していませんか？（→ P.27, 32）
- 助手席ドアは開いていますか？（→ P.31, 32）



助手席リフトアップシートが少し反転して停止した

- 助手席リフトアップシート回転中、障害物にあたっていませんか？（→ P.33, 37）



助手席リフトアップシートの前後位置・リクライニング調整ができない

- 助手席リフトアップシートは車内に完全格納されていますか？（→ P.17, 37）



助手席リフトアップシートが動かない、または作動中に停止した

- 断続的にスイッチを押していませんか？（→ P.32, 36）
- ヒューズが切れていませんか？（→ P.56）
- 助手席リフトアップシート操作中にバッテリーをはずしていませんか？（→ P.14）
助手席リフトアップシート操作中にバッテリーをはずしたときは、リセット操作が必要になります。（→ P.62）

**助手席リフトアップシートが動かない（ワイヤレスリモコンで操作している場合）**

- 車両から離れすぎていませんか？（→ P.24）
- 周囲の電波状況により、助手席リフトアップシートが作動しなくなることがあります。（→ P.25）
- 電源スイッチを押してから 6 秒以内（動作表示 LED が赤色点灯中）に、シート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押していますか？（→ P.32, 36）

**ワイヤレスリモコンの作動可能距離が著しく短くなったり、動作表示 LED が点灯・点滅しなくなった**

- 電池を交換してください。（→ P.59）

車から音が鳴ったときは（音さくいん）

次の状況のとき、車の状態や誤作動などをお知らせするためにブザーが鳴ります。

助手席リフトアップシート操作時

状況	原因	詳細
ワイヤレスリモコンまたはシート昇降スイッチを押したとき	助手席リフトアップシート作動開始	P.31 P.35 P.39
	助手席リフトアップシートが車外に下降完了	P.32
	助手席リフトアップシートが車内に格納完了	P.35
ワイヤレスリモコンまたはシート昇降スイッチを押しても助手席リフトアップシートが動かないとき	助手席ドアを閉めたままシート下降スイッチを押している	P.32
	助手席リフトアップシートでシートベルトを着用したままシート下降スイッチを押している	P.32
助手席リフトアップシートが少し反転して停止したとき	助手席リフトアップシートが回転中、障害物にあたるなど助手席リフトアップシートの作動がさまたげられた	P.33 P.37

助手席ドア開閉時

状況	原因	詳細
助手席ドアを閉めたとき	助手席リフトアップシートの格納が不完全	P.37

シートベルト着用時

状況	原因	詳細
助手席リフトアップシートでシートベルトを着用したとき	助手席リフトアップシートの格納が不完全	P.37

五十音順さくいん

あ

アームレスト	21
安全なドライブのために 車いすの固定について	13
助手席リフトアップシートに ついて	8
バッテリーについて	14

き

緊急時の対処法 助手席リフトアップシートが 車外に出た状態で動かない ときは	61
---	----

く

車いす 解除のしかた	52
収納可能なサイズ	44
収納・固定のしかた	50
収納・固定前の準備	44
出し入れる前に	44
ラゲージルーム内に収納・固定 しないときは	48
ラゲージルーム内に収納・固定 するときは	48
車いす固定ベルト	46

こ

故障かな?とお考えになる前に 助手席リフトアップシートが 動かないときは	58
ヒューズの交換	56
ワイヤレスリモコンの 電池交換	59

さ

サードシートへの乗り降り	41
--------------------	----

し

シート昇降スイッチ	39
シート前後スライドスイッチ	17
シートリクライニングスイッチ ...	17
自動メモリー機能	33, 36
収納可能な車いすのサイズ	44
手動車いす用固定装置 解除のしかた	52
車いす固定ベルト	46
固定後、走行する前に	52
収納・固定のしかた	50
使用工具について	61
助手席リフトアップシート アームレスト	21
動かないときは	58
シート昇降スイッチでの操作 ...	39
シート前後スライドスイッチ ...	17
シートリクライニング スイッチ	17
自動メモリー機能	33, 36
車外に出すときは	31
車外に出た状態で 動かないときは	61
車内にもどすときは	35
手動で車内にもどすときは	66
スイッチを押しても 助手席リフトアップシートが 動かないとき	66
操作をするときは	27
正しい乗車姿勢	23
調整	17
フットレスト	22
ヘッドレスト	19
リセットについて	62

す	
スイッチを押しても 助手席リフトアップシートが 動かないとき.....	66
Stop & Start システム	28
スライドストッパー.....	41
せ	
セカンドシート 助手席側セカンドシート.....	41
た	
正しい乗車姿勢.....	23
て	
定期点検整備記録簿.....	84
デッキボードの開閉.....	49
点検・整備項目 定期点検整備.....	74
は	
バッテリーの取り扱い.....	14
ひ	
ヒューズ 位置	56
エンジンルーム内左側 ヒューズボックス	57
助手席リフトアップシート 左側下部.....	56
ふ	
ブザー.....	28
フットレスト	22
へ	
ヘッドレスト	19

ま	
万ーの場合には.....	55
り	
リセットについて.....	62
わ	
ワイヤレスリモコン 各部の名称.....	24
作動可能範囲.....	24
電池交換.....	59

■その他必要となった点検整備の内容および
主な交換部品

12か月定期点検整備記録簿
分解整備記録簿

該当なし	異常なし	交換	X	締付	T	清掃	C
調整	A	修理	△	給油	L	省燃	P
		分解	○				

点検の結果および(分解)整備の概要

■助手席リフトアップシート点検

- ・スイッチ作動状態
- シート昇降スイッチ
- シート前後スライドスイッチ
- シートリクライニングスイッチ
- 収納・下降後のロック状態

■車いす固定ベルト点検

- ・ベルトの損傷
- 汚れ、傷、ほつれ

----- 依頼書の氏名又は名称及び住所
氏名又は名称 -----
 ----- 住所 -----

----- メンテナンスに関するアドバイス -----

----- 型式 ----- 初年度登録または初年登録後直年 -----

----- 自動車登録番号又は車両番号 (左記の無い車両にあつては、車台番号) -----

----- 自動車分解整備事業者の氏名又は名称及び事業場の所在地
氏名又は名称 -----

----- 事業場の所在地 -----

----- 説語又は指定番号 ----- 点検の年月日 -----

----- 分解整備 (点検) 時の総走行距離 ----- 整備を完了した年月日 -----

----- km ----- 年 月 日 -----

----- 整備主任者の氏名 -----

型式	ウエルギヤブ 助手席リフトアップシート車
架装物名	
ボデーNo.	
お客車の 業種・種別	架 装 メーカ名
	トヨタ 車体 (株)

お問い合わせ、ご相談は
下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター
全国共通・フリーコール

 **0800-700-7700**

オープン時間 365日 9:00~18:00

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

ご愛用車のお問い合わせは、自動車検査証（車検証）を
ご用意頂くとスムーズな対応が可能です。

「個人情報保護方針」については、
<http://www.toyota.co.jp> にて掲載しております。

「リコール等情報」については、
<http://toyota.jp/recall/index.html> にて掲載して
おります。

トヨタ自動車株式会社
<http://toyota.jp>



M 28A10

01999-28A10

IT-2017年6月26日

2017年7月3日 初版

適用車種[エスクァイア/ノア/ヴォクシー]

助手席リフトアップシート車